

相談支援センターさつきってどんなところ？

相談支援センターさつき 平林 和泉

Q業務内容は？

ご本人の希望する生活をお聞きした上で、福祉サービスの利用に関する計画を立てるお手伝いをしています。また、統一した支援ができるよう、障害福祉サービス事業所や病院、学校などの関係機関と連携します。その後は定期的な経過把握を行い、現状に適した福祉サービスが提供できるように計画変更などの調整も行います。当センターでは年齢や障害種別は問わず、障害のある方全般の相談支援を行っています。

Q利用方法や費用は？

ご本人の住所が、サービス対象地域である相談支援事業所を選択します。当センターは瀬戸田町および因島地区を除く尾道市内が対象です。相談支援事業所が決まったら、市役所に申請をします。費用は全額市が負担しますので、ご本人の負担はありません。

Qどんな人が働いているの？

一定期間の経験を積み、研修を受けた相談支援専門員(以下、相談員)が働いています。私の場合は、精神科医療や介護保険施設の相談員を経験し、その後尾道さつき作業所で支援員の仕事をを経て、当センターに勤務することになりました。

Qこの仕事をしてよかった点は？

ご本人やご家族にとって嬉しい時も困難な時も、相談員として関わっている事です。相談員はご本人にとって何が一番大切かを考えながら計画を立てますが、実際の生活者はご本人です。他の人に頼りがちだったけど困り事の相談方法を知り、一人暮らしができるようになった方や、結婚後も支援者が日常的に関わることで在宅生活を続けている方などに出会い、サービス等利用計画で掲げた目標以上の力をご本人が発揮する場面がたくさんありました。ご本人の力の強さに感嘆しながら日々、相談業務に取り組んでいます。(お問い合わせ先:TEL0848-23-8004)



▲何でもご相談ください
(写真左から谷口、平林、豊久相談員)

草刈りで達成感 ~施設と地域との関係づくり~



▲かなり上達しました!
皆さんもいっしょにどうですか

星の里小規模多機能型居宅介護事業所 やまが 山鹿 拓真

星の里新館では、地域密着型サービス事務所の役割として年に3回、地域の皆さんと一緒に蛇が池地区の草刈りをしています。私はこの活動で初めて草刈りを体験し、重たい草刈り機を持って歩くだけで一苦労でした。一見大変そうな活動ですが、参加者が一つの目標に向かって汗を流すことで、不思議な団結力と達成感を味わうことができます。

この活動が施設と地域との関係づくりの一環になればと思っています。

2020 どんぐり工房カレンダー 収支状況

・収入 2,992,000円
・支出 1,153,583円
・収益 1,838,417円

2020 どんぐり工房カレンダーをご購入いただき、ありがとうございました。収益は全額、障害者施設で分配し、利用者さんの工賃として支給させていただきました。

寄付者一覧

(2020年1月~2020年4月・順不同・敬称略)

<寄付金> 松谷昭人 山田玲子 谷尾浩 國貞峯子 城田スズ子
<寄付物品> 山源山乃花株式会社 株式会社村上製作所
社会福祉法人たんばぼ保育園 太平交通株式会社
有限会社I WILL土居写場 ロイヤルインテリア株式会社
山一博青果 小倉恵利 村上隆俊 山田玲子 匿名希望

編集後記

「密」を避けての生活が続きますね。人との関わりが少なくなりがちですが、このような時こそ「笑い」のある生活とと思っています。「笑う門には福来る!」笑いでネガティブな感情を吹き飛ばし、穏やかな日々が戻ってくるよう祈っています。 H.S



発行 社会福祉法人 尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com
E-mail:hoshinosato@satukikai.com

「ホームみつぎ」を開設 ~自分らしく豊かな地域生活の実現にむけて~



▲ホームみつぎの外観

ともありましたが、他の利用者さんや職員とコミュニケーションを図りながら少しずつ不安や緊張も和らいでいきました。入居3カ月が経過し、自宅で生活していた時は家族に任せていた洗濯や食器の片付けなども、できる範囲で積極的に取り組んでいます。

ご家族、地域の方々、関係者の皆さまに内見会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で、中止しました。

ご家族の面会をはじめ、外部の方の入館は極力控え、館内の換気や消毒の実施、不要不急の外出を控えるなど、利用者さんの命を守るため、感染予防対策を徹底しています。

我慢の生活が続いているなか、利用者さんからは「行けるようになったらみんなで買い物やご飯を食べに出かけたい」「旅行に行きたい」など明るい話が出ています。

自粛している活動も多いですが、健康と安全を最優先し利用者さんの思いを反映させながら、地域の中で自分らしく豊かな生活が送れるよう支援していきます。併せて、地域の方との交流を持ちつつ地域に溶け込み、愛される施設運営を行っています。

ホームみつぎ ほくだ 智美

4月1日に御調町大田に障害者のグループホーム「ホームみつぎ」(定員10名)を開設しました。建物は、木造建築の温かさや癒しのある空間で、段差解消などバリアフリー構造も充実し、利用者さんが安全かつ安心して生活ができる憩いの場になっています。

初めて自宅や親元を離れて生活を始める利用者さんが多く、建物の設備や備品の場所、自分の部屋でも物の位置などにとまどっていましたが、職員と一緒に一つずつ覚えていきました。また、気持ちの面でも「寝つけない」など不安になるこ



▲世話人と対話する利用者さん



▲食器洗い中の利用者さん ▲洗濯も自分で行います

あいあいの園庭をリ・ガーデン

～自然がいっぱい、笑顔もいっぱい～

とうやま 児童発達支援センターあいあい 岩山 瞳

4月に、あいあいの園庭が生まれ変わりました。地面が芝で柔らかくなり、はだしで出るのが気持ちよくなりました。出たすぐ目の前にはかわいい草花があり、中央にはまだ小さいですが桜の木も植えました。また小さな山もでき、そこには昨年度の卒園児がペンキで色を塗ってくれたカラフルなタイヤのトンネルがあります。



1年中楽しめる草木や草花が彩る園庭で、笑顔あふれる子どもたち

入園式の時に園庭を見た新入園児が「外であそびたい!」と言っており、外遊びを楽しみに初登園していた園児も多くいました。昨年度からの在園児も新しくなった園庭を見て「わあ〜!」と喜びの声が上がりました。みんな新しい園庭が大好きで毎日楽しく遊んでいます。砂場で泥んこになったり、トンネルの中で涼んでみたり、山に登って「お〜い!」と先生を呼ぶ園児もいます。また、花に水やりをしたり、てんとう虫を見つけて教えてくれる園児もいます。自然に触れあい成長していく姿が楽しみです。



いっぱいおみずのんでね〜!

新型コロナウイルス感染防止対策でウェブを活用

新卒の採用活動にウェブを活用

総務課 川口 達也

尾道さつき会では、2021年3月新卒者の採用活動を、新型コロナウイルスの状況を考慮し、全面的にウェブでの採用活動に移行しました。

例年開催していました施設見学会に代わり、オンラインセミナーと動画の視聴により、当法人を知って頂けるよう工夫しました。また、選考の過程においてもテレビ電話を利用した面接選考を実施しています。

応募者の方にとっては、例年より施設、法人を知る機会が減少している状況ですが、ウェブを介して質の高い情報提供ができるよう、可能な限り内容の充実を図ります。



▲テレビ電話を利用した面接

LINEを利用してテレビ面会

ケアハウス星の里 岡崎 加歩

新型コロナウイルス感染予防対策として、特養に入居されている方の面会を禁止しているため、4月下旬から、無料通話アプリのLINEを使ったテレビ電話での面会を始めました。

LINEを利用されている方は、星の里のLINEアカウントを「友だち」に追加していただくと、自宅からも面会ができます。LINEを利用していない方は、星の里へ来所していただくと、玄関ロビーで星の里のタブレットを使いテレビ面会を行うことができます。面会時は予約が必要となります。

利用されたご家族からは「直接会えないのは寂しいけれど、こうやって顔を見ながら話ができ安心しました」との声をいただいています。



▲ただいまテレビ電話で面会中

異業種から転職してきた職員や、福祉・医療系の学部外から入職してきた職員を紹介します。

シリーズ

JOY CHANGE たのしく転職

児童発達支援センターあいあい 岩本 宏香

Q1前職は何をしていましたか。

サービス業界で、ホテルの客室係をしていました。日本固有の「おもてなし」の心で訪れた方々に非日常の空間を味わって頂くと共に、広島の魅力を十分に伝え、「また訪れたい」と感じて頂けるようお客様との会話を楽しみながら働いていました。

Q2さつき会に入職した経緯を教えてください。

もともと院内学級や発達に困り感のある児童の療育に興味がありました。子育てと同時期に重度の障害のある赤ちゃんに出会い関わっていく中で、「赤ちゃんやお母さんの力になれる事は何だろう」と考える事があったのがきっかけです。

Q3前職の経験が活かされていることは。

接客業務では、一人ひとりが期待し求めている事に気付くこと、タイミングや間を大切にすることなどが身に付いたと感じています。この経験が療育に携わっていく中で、言葉で伝える事ができない児童の思いや保護者の願いをくみ取って支えていくことに活かされています。

Q4働いてみてさつき会の良さは。

(入職や転職を考えている人へのメッセージ)

法人内には高齢や障害の事業所があり、法人の理念に基づいて地域との共生や専門機関との連携など、人とのつながりを大切にしているところに魅力を感じています。また、自分自身の向上心を高め、互いに認め合える職場環境の良さを日々実感できる法人です。



▲児童と遊具であそぶ岩本職員

マスクで笑顔!マスクでも笑顔!

星の里小規模多機能型居宅介護事業所 佐藤 由佳



▲マスクでも笑顔が満開です

新型コロナウイルスの影響で店頭からマスクが消え、購入が難しくなっていた時期のことです。利用者さんご家族から「いつもありがとう」とマスクをいただきました。ねぎらいや感謝の言葉をいただくことも多く、スタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

事業所では皆さんに安心して利用していただけるよう、感染予防に努めています。検温やアルコール消毒、換気、座席の配置の工夫など利用者さんやご家族にも協力いただいています。職員はマスクを着用しているため、表情は見えにくいと思いますが、マスクの下はいつもと変わらぬ満面の笑みです。感謝の気持ちを笑顔でもお返ししていきます。

玄関前に手洗い場を設置

～こまめな手洗いを一人ひとりが意識～

尾道サンホーム 向井 梨咲

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、その予防対策は施設において重要な課題のひとつです。尾道サンホームでは本館玄関前に手洗い場を設置しました。さまざまな物に触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。施設内にウイルスを持ち込まないことを徹底するため、館内に入る前には、出勤した職員や日課で外出した利用者さんも、手洗いと消毒を行っています。

職員だけでなく利用者さんにも協力してもらい、感染の拡大防止に努めています。こまめな手洗いを一人ひとりが意識し、一日でも早くこの事態が終息することを願っています。



▲入館前の手洗いを徹底しています